末広まちづくり推進協議会 会議録 令和6年度第4回

会議概要	
日時	令和7年3月11日（火曜日）午後6時00分から午後7時40分まで
場所	末広公民館 1階 講座室
出席者	委員（12名、正副会長以外は50音順） 村田会長，加藤副会長，泉川委員，大城委員，金澤委員，柴田委員， 正部川委員，田畑委員，舘岡委員，早川委員，柳澤委員，渡瀬委員 （欠席者 中山委員，前川委員） 事務局 地域活動推進課 高桑専門官 末広公民館 澤井館長
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 令和6年度事業概要
	資料2 令和7年度末広まちづくり推進協議会の事業実施体制

議事の内容

1 開会

2 報告・協議事項

- (1) 令和6年度事業報告について

資料1「令和6年度事業報告について」により、各実行委員会より、事業報告及び収支決算について報告を行った。令和6年度事業成果に係る評価は以下のとおり。

・(未広地域交通安全対策事業)

未広地域における交通安全の取組は、各団体が年間の活動予定を共有しており、地域の主体的な取組の一つとして定着している。未広地域3地区をあげての「交通安全啓発のぼり」を掲示し、国道40号と道道との交差点での街頭啓発活動を実施し、地域の交通安全に対する意識の高揚に寄与した。

・(未広地域活動団体PR事業)

未広地域の各種活動団体の活動を紹介したチラシを全町内会で回覧するとともに、各小中学校等で配布することで、より広く住民に対する周知をすることができた。まちづくり推進協議会について、協議会及び実行委員会の取り組みの概況をお知らせすることができた。

・(未広ふれあいスポーツクラブ子どもの居場所づくり事業)

学習支援については、低学年の参加者(小1年~小4年)が多数であるが、宿題・家庭学習・お楽しみプリント等、経験豊富な支援指導者のアドバイスもあり、意欲的に取り組んでいた。図形を利用した『ぬり絵』を行い、あつま〜るde運動会の折に展示し発表の機会を得た。スポーツ支援については、学年に相応した種目を工夫する中で、低学年を思いやり、力を合わせたり、異学年での良好な交流が生まれた。文科省「小学生体力測定全国平均」を基に定期的に体力チェックを行うことで各自の体力を知り、今後の励みにつながる、と考えている。全体として、学習とスポーツ担当者の役割の明確化により事業内容がきめ細かく多角的になった。

・(未広見守りネットワーク担い手連携事業)

見守り活動者の意見交換の場が出来た。横のつながりづくりに賛同する活動者、団体が出てきた。活動者の声を見守り通信で地域と共有した。

(2) 令和7年度の組織変更、活動計画について

資料2「令和7年度未広まちづくり推進協議会の事業実施体制」により、平成7年度の体制について確認を行った。

また、令和7年度事業計画について、各実行委員会より、事業計画及び収支予算について説明を行った。委員の質疑応答は次のとおり。

・(委員) ふれあいスポーツクラブの対象について、計画では小学生としているところ、中学生の地域二ーズはないのか。

(実行委員会) 過去には中学生の参加もあったが、今は二ーズとしてはない。

・(委員) 学習支援の指導員はどのような人材なのか？

(実行委員会) 実行委員のうち、教職員 OB 4 名が学習支援の方を担当している。

- ・(委員) 予算書において、謝礼のウェイトが大きく見える。

(実行委員会) 交通費相当として1回につき1,000円を支給している。

(委員) 他地域の取組では、ボランティアに謝金支給をしていない事例もある。予算が潤沢にあるわけではない中、謝金を減じることで、子どもたちのための遊具購入を充実させられる。

(実行委員会) 令和7年度は、謝金予算をいくらか減じて、その分を他項目に回している。

(委員) 理想としてはそうなのだが、続けていくためには、なにがしかの物を用意しなければならず、本当の「無償」というのは実に難しい。

(委員) 3時間で千円の謝金は、ほんの気持ち程度のもの、として良いのではないだろうか。

(副会長) いろいろな意見を取り入れていく、ということで良いように思う。

(実行委員会) いただいたご意見は今後の運営の参考にしていく。

3 その他

(1) 委員の交代について

令和7年3月末で退任の申し出のあった委員2名について報告を行った。

(2) 地域要望について

末広地域から挙げられた地域要望(案)について内容確認を行った。検討の結果、3項目について要望として挙げていくこととした。

(3) 委員意見交換について

委員から、地域交流促進や地域の絆づくりを目的に、ポッチャを取り上げてみてはどうか、という提案が出された。委員の意見交換から、良いアイデアであり、次年度に引き続き検討していくこととなった。主な意見交換は以下のとおり。

(委員) 末広地域でも、4グループくらいがポッチャのサークル活動をしている。パークゴルフよりも手軽で、末広中央会館では毎週月曜日に20人くらいが集まって楽しんでいる。誰でも参加できるスポーツで、地域の交流が深めるのに良いと思う。地域の活動に気軽に参加してもらおうのが第一歩と思うので、まち協でも検討してみるのはいかがでしょうか。

(委員) ポッチャは、そもそもは障がい者向けと聞くんが、今は老若男女、誰でも楽しめるスポーツになっている。

(委員) 末広3地区には青少年部がある。地区の予選大会から、地域間のチャンピオン大会まで企画すれば、面白いかもしれない。子どもたちも多く参加しそうに思う。

(委員) 末広東地区では、モルックを取り上げて、5月に、市民委員会や町内会の役員向けに体験講習会を企画している。モルック、ボッチャ、その他にも、カーリンコンなど、気軽に参加できるものがいろいろある。

(会長) 良いアイデアと思うので、以降、検討を続けていくこととする。

(4) 次回日程について

令和7年度の第1回協議会は5月27日(火) 18時~末広公民館で行う。

4 閉会